

平成30年5月22日

平成33年度広島大学入学者選抜の方針について

この度、文部科学省「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について（通知）」を踏まえ、本学の平成33年度入学者選抜の骨格を取りまとめました。

なお、今後、平成30年度末を目途に、より詳細な実施案を公表予定です。

1. 概要

本学の平成33年度入学者選抜の骨格の概要は、別紙のとおりですが、その主な点は次のとおりです。

2. 大学入学共通テスト

(1) 「一般選抜」においては第一次試験として、原則5教科7科目を課す。

(2) 英語科目の取り扱いについては、英語認定試験を「一般選抜」の全受験生に課すとともに、平成35年度に実施する平成36年度入学者選抜までは、大学入学共通テスト（以下、「新テスト」）において実施される英語試験を併せて課す。

なお、平成37年度以降の入学者選抜については、引き続き検討する。

(3) 英語認定試験結果の活用については、本学が定める条件をすべて満たした
場合、新テストの外国語（英語）の得点を満点とみなす。

(4) 新テストの記述式問題については、記述式問題を含む国語及び数学を「一般選抜」の全受験生に課すこととする。その上で、国語の記述式の段階別成績表示については、その結果を点数化しマークシート式の得点に加点して活用する。数学の記述式の段階別成績表示については、従来のマークシート式と同様の取扱いとする。

3. 一般選抜

(1) 実施教科・科目については、現行の教科・科目とする。

(2) 一般選抜における高度な記述式試験の実施については、各教科・科目において、一層論理的思考力・判断力・表現力を評価する作問に努める。

(3) 多面的、総合的評価を実現するため、調査書や志願者本人が記載する資料、面接等を活用する。特に、後期日程においては、面接を実施するよう努める。

4. 広島大学光り輝き入試（総合型選抜及び学校推薦型選抜）

(1) 多面的、総合的評価を実現するため、調査書や志願者本人が記載する資料、面接等を活用するが、具体的な活用方法については平成 30 年度末を目途に公表する。

(2) この入試区分の募集人員については、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するねらいを踏まえ、各学部・募集単位の事情に応じて適切に判断する。

【お問い合わせ先】

教育室教育部

入試グループ 渡部 淳

TEL:082-424-6172 FAX:082-424-6710

別紙

平成 30 年 5 月 22 日
広 島 大 学

平成 33 年度広島大学入学者選抜の見直しに係る予告について

平成 29 年 7 月 13 日付け「平成 33 年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について（通知）」を踏まえ、本学の平成 33 年度入学者選抜の骨格は、本年 5 月 15 日現在で、次のとおりとする。

なお、今後平成 30 年度末を目途に、より詳細な実施案を公表予定である。

1. 趣旨

本学の入学者選抜において、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針を踏まえた入学者受入れの方針に基づき、「学力の 3 要素」（「基礎的・基本的な知識・技能」「知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」）を多面的・総合的に評価するものへと改善することを趣旨とし、各入試を以下のとおりとする。

2. 大学入学共通テスト

(1) 「一般選抜」においては第一次試験として、高等学校等における基礎的教科・科目についての学習の達成度を測るため原則 5 教科 7 科目を課す。

(2) 英語科目の取り扱いについては、大学入学共通テスト（以下、「新テスト」）の枠組みにおける 5 教科 7 科目の位置づけとしての英語認定試験を「一般選抜」の全受験生に課すとともに、平成 35 年度に実施する平成 36 年度入学者選抜までは、大学入試センターの新テストにおいて実施される英語試験を併せて課す。

なお、平成 37 年度以降の入学者選抜については、引き続き検討する。

(3) 英語認定試験結果の活用については、本学が定める条件をすべて満たした場合、本学を受験する年度の新テストの外国語（英語）の得点を満点とみなす。

(4) 新テストの記述式問題については、新テストの 5 教科 7 科目を課す原則の下、記述式問題を含む国語及び数学を「一般選抜」の全受験生に課すこととする。その上で、国語の記述式の段階別成績表示については、その結果を点数化しマークシート式の得点に加点して活用する。数学の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、及び大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点がなされることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとする。

3. 一般選抜

- (1) 実施教科・科目については、現行の教科・科目とする。
- (2) 一般選抜における高度な記述式試験の実施については、各教科・科目において、一層論理的思考力・判断力・表現力を評価する作問に努める。
- (3) 多面的、総合的評価を実現するため、調査書や志願者本人が記載する資料、面接等を活用する。特に、後期日程においては、面接を実施するよう努める。

4. 広島大学光り輝き入試（総合型選抜及び学校推薦型選抜）

- (1) 多面的、総合的評価を実現するため、調査書や志願者本人が記載する資料、面接等を活用するが、具体的な活用方法については平成 30 年度末を目途に公表する。
- (2) この入試区分の募集人員については、「学力の 3 要素」を多面的・総合的に評価するねらいを踏まえ、各学部・募集単位の事情に応じて適切に判断する。

以上

大学入試英語成績提供システム参加要件を満たしていることが確認された資格・検定試験(アルファベット・50音順)

	資格・検定試験実施主体名	資格・検定試験名
	Cambridge Assessment English (ケンブリッジ大学英語検定機構)	①ケンブリッジ英語検定
1		C2 Proficiency
2		C1 Advanced
3		B2 First for Schools
4		B2 First
5		B1 Preliminary for Schools
6		B1 Preliminary
7		A2 Key for Schools
8		A2 Key
9	Educational Testing Service	②TOEFL iBTテスト
10※	IDP:IELTS Australia	International English Language Testing System(IELTS) (対象:「アカデミック・モジュール」)
11	一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会	③TOEIC® Listening & Reading Testおよび TOEIC® Speaking & Writing Tests
	株式会社ベネッセコーポレーション	④GTEC
12		Advanced
13		Basic
14		Core
15		CBT
16	公益財団法人日本英語検定協会	⑤Test of English for Academic Purposes(TEAP)
17		⑥Test of English for Academic Purposes Computer Based Test(TEAP CBT)
		⑦実用英語技能検定(英検)
18		1級 (対象:「公開会場実施」)
19		準1級 (対象:「公開会場実施」・「1日完結型」)
20		2級 (対象:「公開会場実施」・「1日完結型」・「4技能CBT」)
21		準2級 (対象:「公開会場実施」・「1日完結型」・「4技能CBT」)
22		3級 (対象:「公開会場実施」・「1日完結型」・「4技能CBT」)
23	ブリティッシュ・カウンシル	⑧International English Language Testing System(IELTS) (対象:「アカデミック・モジュール」)

※IDP:IELTS Australiaが実施するInternational English Language Testing System(IELTS)については、条件付きで、参加要件を満たしていると思なすことができるものと判断した。(資料3参照)